

## アウルで実りの秋を堪能



近隣市町村（石狩市・厚田村・新篠津村）の特産品と漫才でたくさんの人を呼び込もうと、町観光協会が主催したイベントが開かれ、2,000人ももの来場者で賑わいました。

各市町村が朝収穫されたばかりの新鮮野菜や毛ガニ・鮭などの特産品を並べたブースでは、近隣町村からの来場者も長い列を作って買い求めていました。

メインイベントの漫才には、吉本興業の練習生7組が3分間の「芸」を披露。うまく笑いを誘う組や観客に反応してもらえない組もありましたが、盛んな拍手と練習生のギャラとなる投げ銭箱にたくさんのご祝儀を入れていました。（9月28日）

また、本通振興会が主催の「ハロウィン祭り」には、たくさん子どもが集まり賑わいました。本部には、巨大かぼちゃをくり貫いて作った「かぼちゃちょーちん」が飾られ、オバケに仮装したスタッフが会場を盛り上げました。

子ども達が手作り衣装や小物を身につけ魔女などに扮した仮装コンテストでは、審査の結果、「考えたで賞」や「たいへんだったで賞」などユニークな賞が発表されていました。（10月12日）



## タウン Town topics トピックス

広報誌で紹介した写真を  
希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ

## 篠津地域で稲刈り体験



篠津運河沿いの川南揚水機場周辺で、篠津中央土地改良区と新篠津土地改良区（土地改良区の愛称＝水土里ネット）が主催し、春の田植え体験に続き稲刈り体験学習を行いました。

稲の生育状況により、春に植えた田んぼとは異なる場所での稲刈りとなりましたが、町内や札幌などから参加した300人ほどの親子連れは、前日の雨で水がたまった田んぼで足元を気にしながら、初めて手にした鎌で、穂の垂れた稲を一株ずつ刈り取り藁で結び、青空の下、はさ架けにしました。

子ども達は稲刈りの後、札幌乗馬クラブの試乗コーナーで乗馬体験を楽しみ、お昼には、ジンギスカンや豚汁で、秋の味覚を味わい、深まりゆく秋の一日を楽しみました。（10月4日）

## 町内の音楽愛好家が集結「ふくろう音楽祭」

町内の音楽グループなどが一堂に会して、第二回「当別ふくろう音楽祭」が当別中学校で開かれました。昨年、町の姉妹都市の岩出山町よりスコレハウス合唱団が来町することを受けて開催され、町内外で好評だったことから開催の運びになりました。

今回は、東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞した当別中学校をはじめ昨年を上回る12団体約170人が参加し、来場者は美しいハーモニーの合唱や澄んだ吹奏楽の音色に聞き入っていました。(10月13日)



当別高校吹奏楽部&北海道医療大学吹奏楽団&当別アンサンブルファミリー



チェリーベル



西当別中学校合唱部

## 中学生議員が町長に質問

行政の仕組みを理解し関心を持ってもらうことを目的に、町内762名の中学生の代表22名が集まり、子ども議会を開催しました。

開会前に一人ひとりに「当選証書」とふくろうをあしらった「議員バッジ」が渡され、晴れて議員になった中学生は、町長をはじめ役場の幹部職員が拍手で出迎える中、緊張の面持ちで議場に入場しました。



9名の中学生議員が町村合併、橋や公園、ごみ街灯防犯など普段疑問に思うことを中学生の視点から鋭く質問し、町長の答弁に熱心に聞き入りメモを取る姿が見受けられました。(10月20日)



青山ダムでのワンカット

## 青山などで映画のロケーション

「当別21夢倶楽部フィルムコミッション」の誘致で映画「ヒッチハイク」のロケが青山を中心に行われました。

この映画は当初、浦河町で撮影される予定でしたが、ロケの候補地が十勝沖地震で被害を受けたことにより、同倶楽部に照会があり、当別町でのロケーションが実現しました。(10月8日)

## くらしと環境考える消費生活展

当別消費者協会が主催し、日常の消費生活を見直そうと開催している消費生活展。会場の白樺コミセンには、フリーマーケットコーナー、手づくりハガキ、木工、塩絵の実演コーナーなどが設けられ小学生や親子連れで賑わいました。また、10月にスタートした資源ゴミの収集品目やダンボール箱の堆肥作りの説明を受ける人など、リサイクルへの関心が集まっていました。(10月19日)

